

第43回 一 関 地 区 広 域 行 政 組 合 一般廃棄物処理施設整備検討委員会

次 第

日時 令和5年8月28日（月）
午後1時30分から午後3時30分まで
場所 一関市役所3階 特別会議室

1 開 会

2 協 議

- (1) 新一般廃棄物最終処分場に係る生活環境影響調査について
- (2) 一般廃棄物処理施設整備に係る施設規模の考え方について
(調整段階のため、資料非公表)

3 そ の 他

4 閉 会

新一般廃棄物最終処分場に係る
生活環境影響調査
(現地調査計画)

令和5年9月

一関地区広域行政組合

【説明内容】

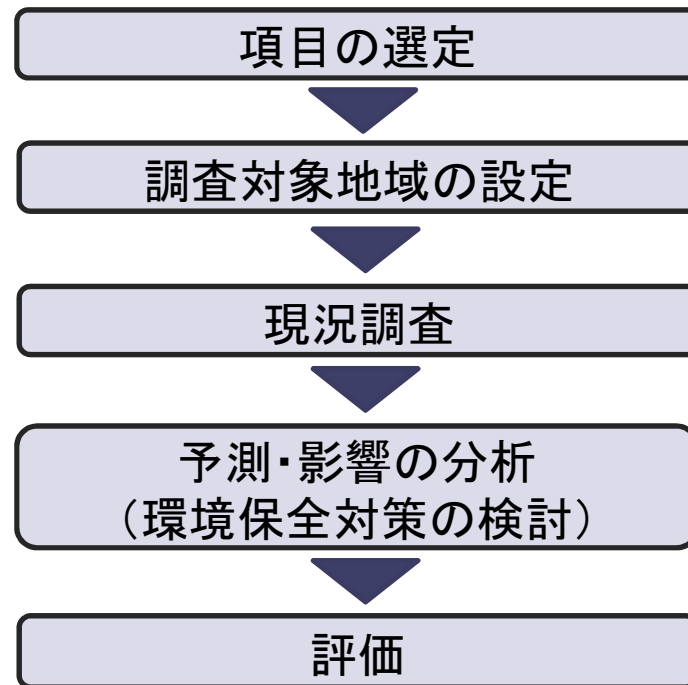
1. 生活環境影響調査の内容
2. 現況調査の内容
3. 生活環境影響調査の想定スケジュール

1. 生活環境影響調査の内容

【生活環境影響調査とは】

生活環境影響調査とは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、施設の設置者が、周辺の生活環境へ及ぼす影響について、事前に調査・予測・評価を行い、生活環境に配慮したきめ細かな対策を検討した上で施設の計画を行うものです。

【生活環境影響調査の流れ】



【生活環境影響調査の項目】

本事業による影響の有無について、調査、予測及び影響の分析をしていく「生活環境影響調査項目」は、最終処分場の事業特性や地域特性を踏まえ、「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」に基づいて設定しました。

生活環境影響調査項目の選定表

生活環境影響調査項目				施設からの 浸出水の流出、または浸 出水処理設備からの放 流水の放流	最終処 分場の 存在	施設(浸 出水処理 設備)の 稼働	埋立 作業	施設か らの悪 臭の 発生	廃棄物 運搬車 両の 走行
生活環境影響要因									
調査事項	大気環境	大気質	粉じん				○		
			二酸化窒素(NO ₂)						○
			浮遊粒子状物質(SPM)						○
		騒音	騒音レベル			○	○		○
		振動	振動レベル			○	○		○
		悪臭	特定悪臭物質(22物質) 臭気指数(臭気濃度)					○	
	水環境	水質	生物化学的酸素要求量(BOD)	○					
			化学的酸素要求量(COD)	× 注1)					
			全りん(T-P)、全窒素(T-N)	× 注1)					
			ダイオキシン類	○					
			浮遊物質(SS)	○					
		地下水	地下水の流れ		○				

○：生活環境影響調査指針の標準的な項目のうち選定した項目

×：生活環境影響調査指針の標準的な項目であるが、本事業の地域特性より非選定とした項目

注1)：化学的酸素要求量、全りん、全窒素は浸出水処理水を湖沼・海域に放流する場合対象となるが、河川への放流となるため非選定とした

2. 現況調査の内容

【現況調査の項目】

生活環境影響調査項目の内容を受けて、現況調査として、「大気質」「騒音」「振動」「悪臭」「水質」「地下水」の調査を実施します。

【現況調査の期間】

現況調査は、令和5年～6年で実施を予定しています。

現況調査の調査スケジュール予定

調査項目	調査時期		R5					R6									
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大気質（気象・粉じん）						(左記内の1か月間実施)											
大気質（SPM, NO2）						(左記内の1週間実施)											
騒音・振動・交通量						(左記内の平日24時間実施)											
悪臭																	
水質																	
地下水																	

【現況調査の内容】

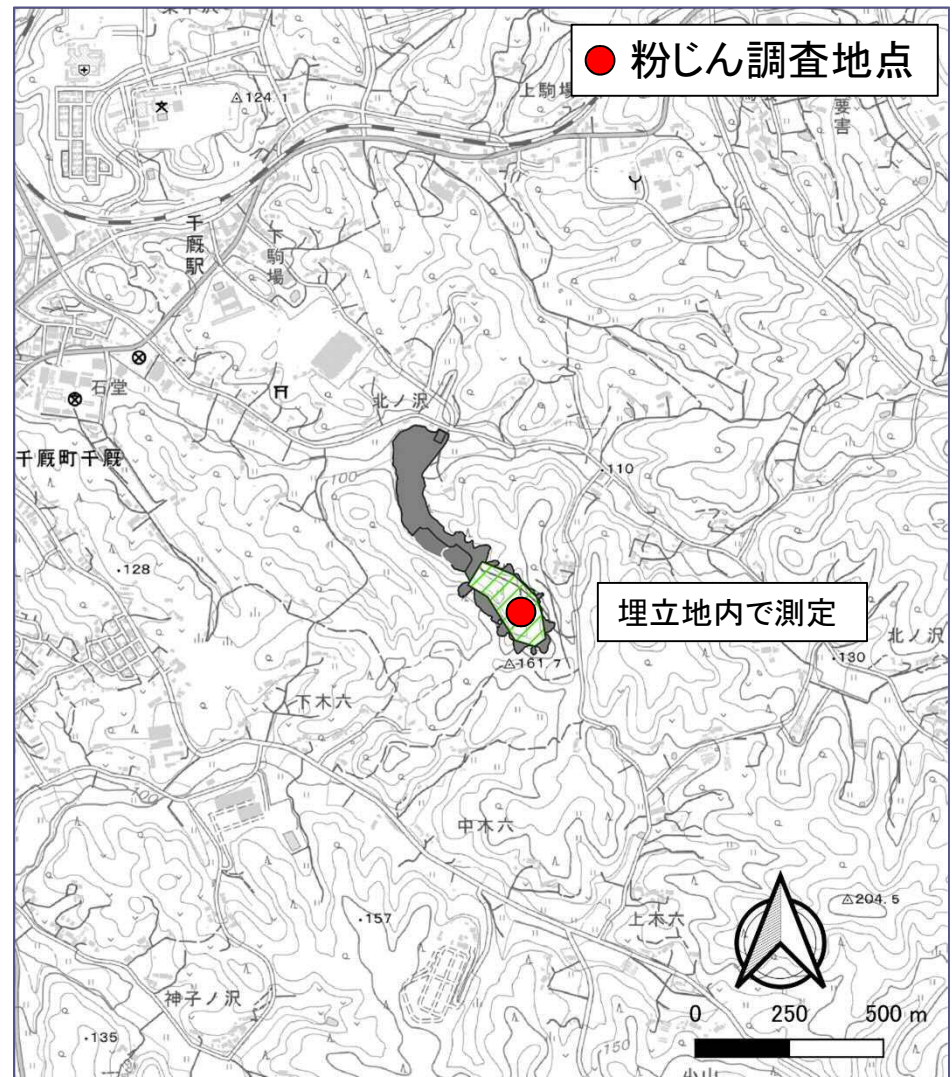
■大気質（粉じん）

供用時の埋立作業時に巻き上がる粉じんの影響を予測するために、現況の降下ばいじん量を測定します。

調査の内容	
調査時期	冬季の1回
調査期間	1か月間
調査地点	1地点
調査項目	降下ばいじん
調査方法	降下ばいじんを回収する容器を取り付けたポール(2～3m程度高さ)を設置



(調査イメージ)



【現況調査の内容】

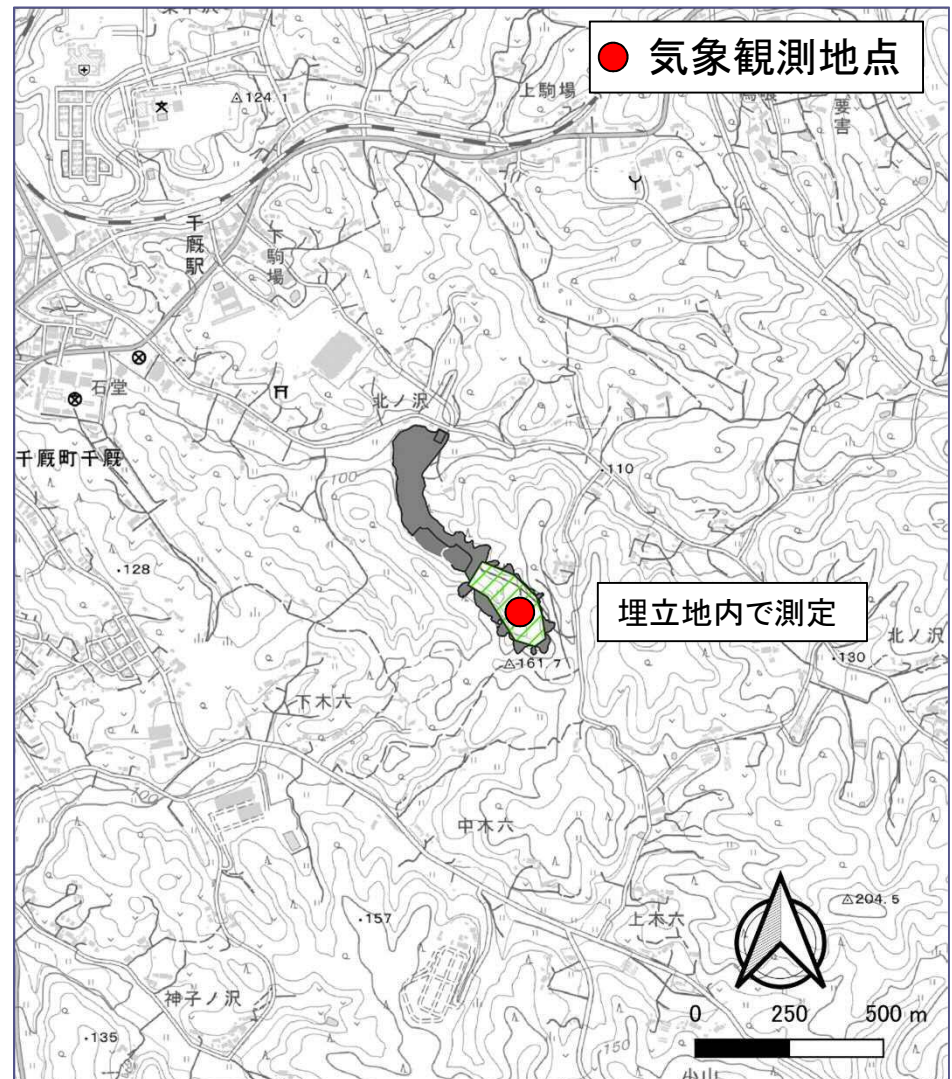
■大気質（気象）

降下ばいじんの測定時の気象条件を把握するために、気象観測を実施します。

調査の内容	
調査時期	冬季の1回
調査期間	1か月間
調査地点	1地点
調査項目	風向・風速
調査方法	気象計を取り付けたポール (10m高さ)を設置



(調査イメージ)



【現況調査の内容】

■大気質（二酸化窒素、浮遊粒子状物質）

自動車の排ガス等に起因する物質ですが、廃棄物運搬車両の走行時の影響を予測するために、現況の濃度を測定します。

調査の内容	
調査時期	冬季に1回
調査期間	1週間
調査地点	市道溝井田鳥羽線 沿道1地点
調査項目	二酸化窒素(NO ₂) 浮遊粒子状物質(SPM)
調査方法	大気観測装置を格納した コンテナを設置



(調査イメージ)



【現況調査の内容】

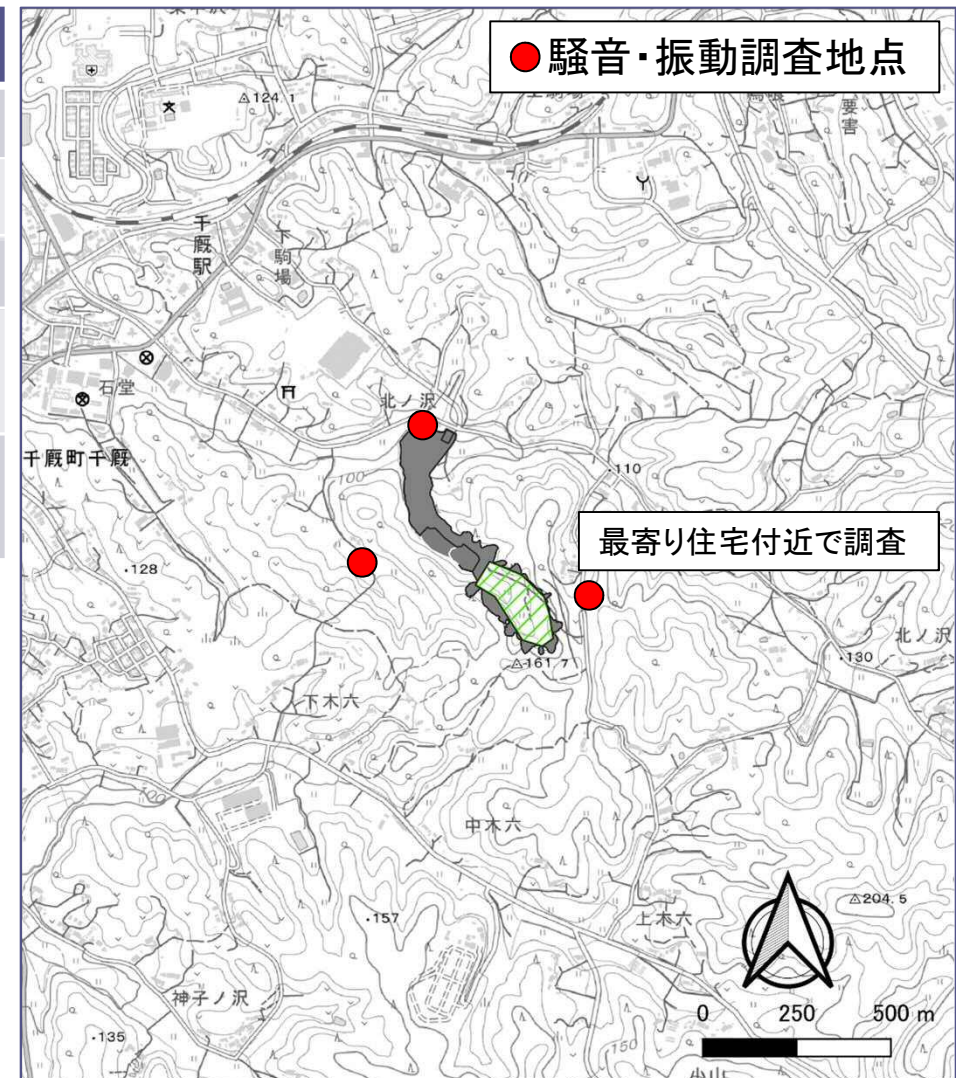
■騒音・振動（環境騒音・振動）

施設の稼働時、埋立作業時の影響を予測するために、現況の騒音レベル及び振動レベルを測定します。

調査の内容	
調査時期	秋季に1回
調査期間	1日間
調査地点	予定地周辺3地点
調査項目	騒音レベル 振動レベル
調査方法	騒音・振動測定器を測定箇所 に24時間設置



（調査イメージ）



【現況調査の内容】

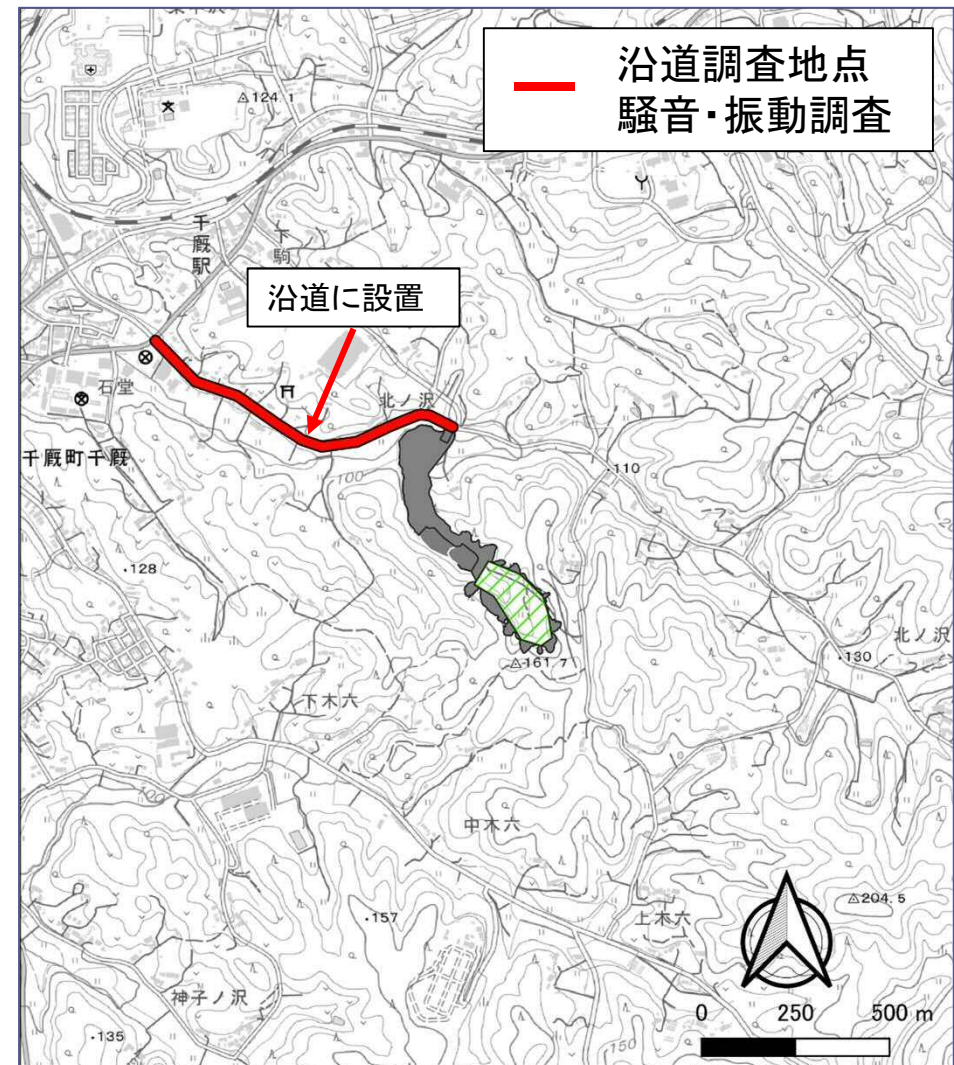
■騒音・振動（道路交通騒音・振動）

廃棄物運搬車両の走行時の影響を予測するために、現況の騒音レベル及び振動レベルを測定します。

調査の内容	
調査時期	秋季に1回
調査期間	1日間
調査地点	市道溝井田鳥羽線 沿道1地点
調査項目	騒音レベル、振動レベル、 交通量、地盤卓越振動
調査方法	・騒音振動：測定器を測定箇所 に24時間設置 ・交通量調査：カメラを沿道に 24時間設置し交通量を計測



（調査イメージ）



【現況調査の内容】

■悪臭

施設（埋立地）からの悪臭の影響を予測するために、現況の悪臭物質濃度を測定します。

調査の内容	
調査時期	夏季に1回
調査時間	1日間
調査地点	2地点
調査項目	特定悪臭物質(22物質) 臭気指数(臭気濃度)
調査方法	現地で空気を採取し、室内等で分析



(調査イメージ)



【現況調査の内容】

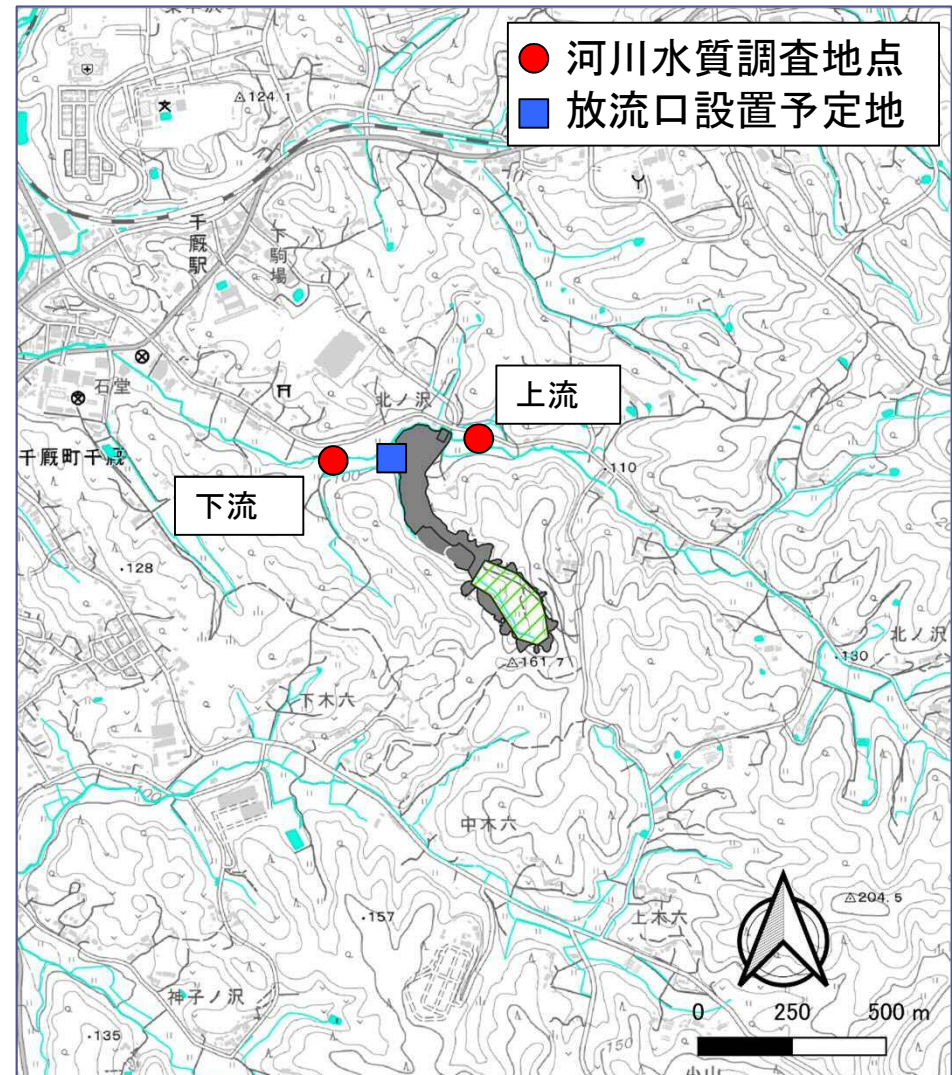
■河川水質

浸出液処理設備からの処理水の放流による水域への影響を予測するために、現況の河川水の水質測定を行います。

調査の内容	
調査時期	低水量時、豊水量時の2回
調査時間	各回1日間
調査地点	2地点 (放流口を挟んだ上流・下流)
調査項目	河川水質(生活環境項目、健康項目、ダイオキシン類)、 流量
調査方法	現地で河川水を採取し、室内で分析、流量は流量計で計測



(調査イメージ)



【現況調査の内容】

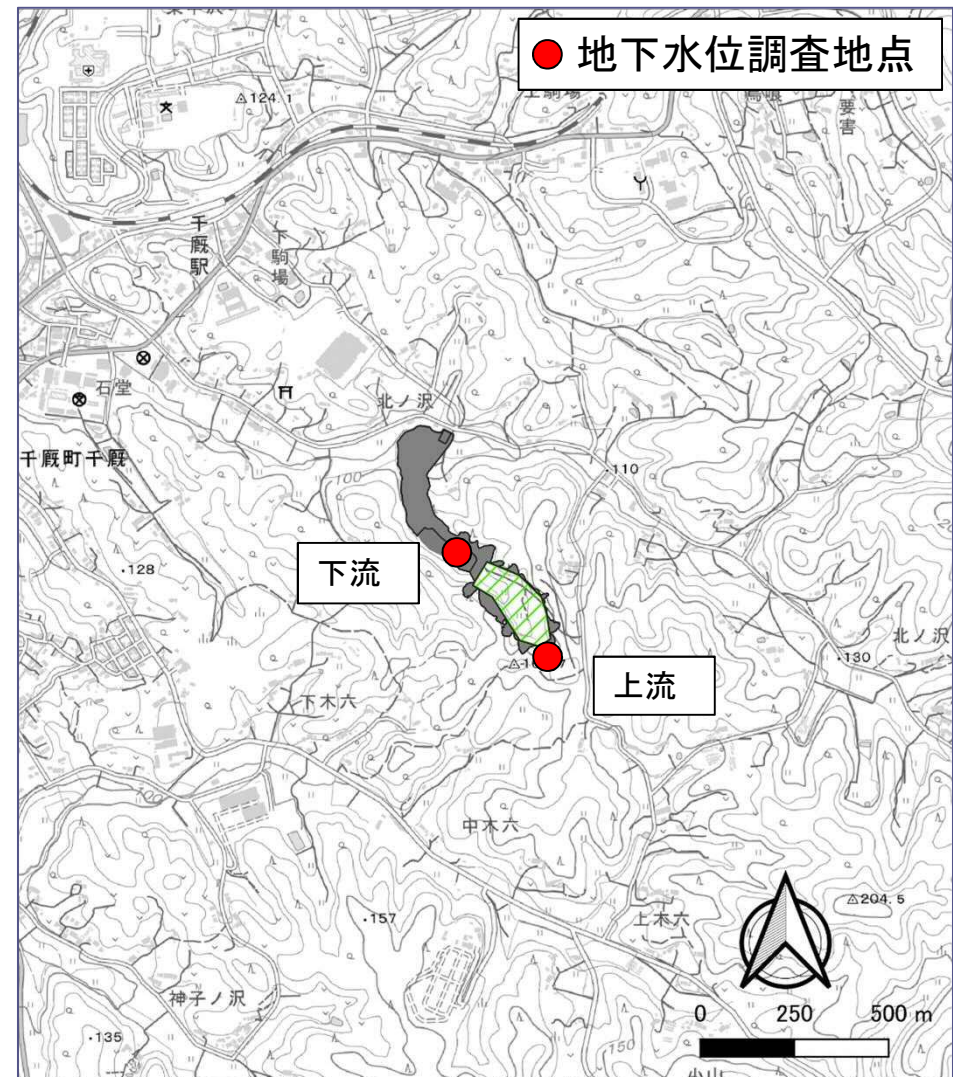
■地下水

最終処分場の存在による地下水の流れへの影響を予測するために、低水量時、豊水量時の地下水位の変動を測定します。

調査の内容	
調査時期	低水量時、豊水量時の2回
調査時間	各回1日間
調査地点	2地点(井戸)
調査項目	地下水質(環境基準項目、ダイオキシン類等)、 水位
調査方法	現地で井戸水を採取し、室内分析 水位は水位計を挿入して計測



(調査イメージ)



3.生活環境影響調査の想定スケジュール

令和5年11月～令和6年8月まで現地調査を実施し、その後、予測及び影響の分析を行い、生活環境影響調査調査書を作成します。
調査書がまとまり次第、内容についてお知らせする住民説明会を開催します。

生活環境影響調査手続きの想定スケジュール

調査時期 実施内容	R5					R6												R7		
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査事項の整理		住民説明会																		
現況調査																				
予測及び影響の分析																				
生活環境影響調査書作成																				
縦覧、意見書																				